

## 救急医療情報キットの配付



### 【福春学区】

■世帯数：1,903 世帯

■人 口：5,311 人

■面 積：0.994 k m<sup>2</sup>

平成 24 年 4 月 1 日現在

### 1 活動・取り組みの内容

- ・ 高齢者、障がい者などの安心、安全のために、かかりつけ医や持病、薬などの医療情報を自宅内に保管し、万が一の救急時に情報を活かす「救急医療情報キット」を配付。利用者は約 100 人。
- ・ 各町内会で民生委員により「救急医療情報キット」配付していることを報告。
- ・ 「秋桜くらぶ」が行う“けんこう体操”の場で活用方法を説明するほか、敬老会で「防災のはなし」をする中でキットの主旨を説明する。
- ・ キットは、救急医療情報用紙に必要事項を記入し、保管容器に入れて冷蔵庫に保管する。また、キットを使用していることを知らせるステッカーを玄関ドアと冷蔵庫に貼付する。

#### 【住民へのPR方法】

チラシの回覧、敬老会など行事で活動の主旨を説明

#### 【アピールポイント】

この事業をすることで「高齢者とのつながり」が深まり民生委員も担当者への訪問がしやすくなっている。

## 2 きっかけ、背景

年々、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加しており、見守り活動の一環として救急医療情報キットを学区名入りで作成し、配付することにした。

## 3 実施の体制

運営メンバー

民生委員児童委員 9人

## 4 実施のスケジュール

H23年 9月 独居世帯および高齢者のみの世帯を守るにはどうしたら良いかを民生委員児童委員協議会で検討

H24年 3月 学区名入りの情報キットを作成

4月 民生委員が配布開始

5月 各町内会で活動の報告

9月 敬老会での「防災のはなし」で主旨説明



## 5 成果と課題

### (1) 成果・効果

住民間の交流が深まり、特に一人暮らしの方との交流が今まで以上に持てた。

### (2) 苦労した点

参加者の確保、活動の担い手不足。他の行事でもキットの説明をして参加者に理解してもらうようにしている。

### (3) 今後の課題・展望

ひとり暮らしと高齢者のみの世帯の見守り活動を継続していきたい。